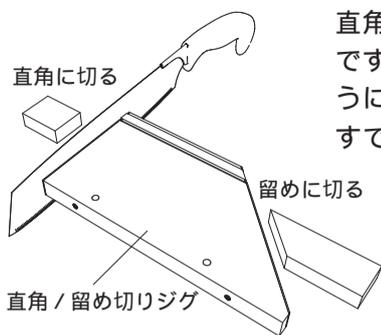


# MIRAI 直角 / 留め切りジグ 取扱説明書

BJAFJFBG

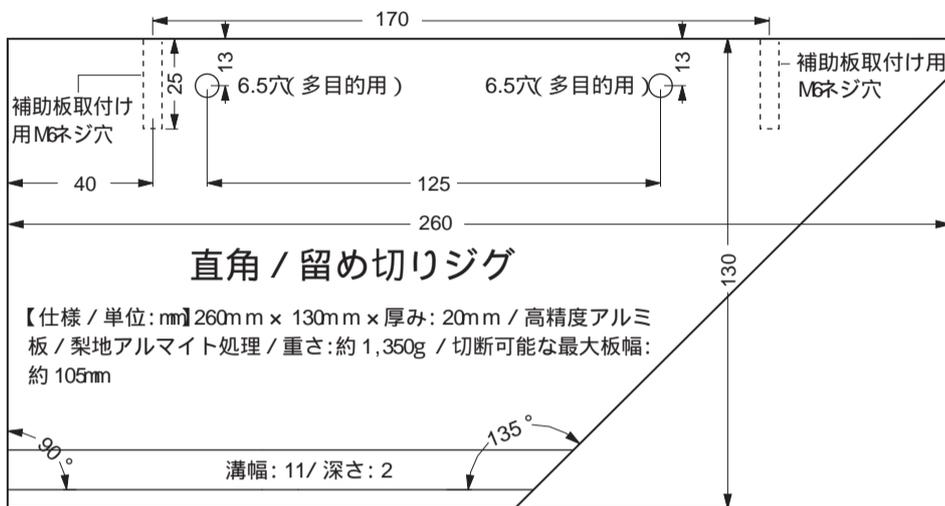
(株) インターナショナル・ミライ・コーポレーション 〒162-0053 東京都新宿区原町 3-73 mirai@momo.so-net.ne.jp http://www.mirai-tokyo.co.jp



直角 / 留め切りジグはノコギリ木工で材を直角と 45° (留め) に切るためのジグです。ジグに貼ったマグネットシートにアサリのないノコギリを吸い付けるようにして使い、直線 / 直角を保ちながら材を切ります。

すでにノコギリ木工を始めていて、アサリのないノコギリやマグネットシートについてご存知の方を対象とした商品です。M 6ネジ穴や多目的用 6.5mm穴を利用すれば、工夫次第で様々な使い方ができます。ノコギリ木工については下記の書籍をお読みください。

製品にはマグネットシート、フェンス材、ネジ類などは付属していません。



## ノコギリ木工とは

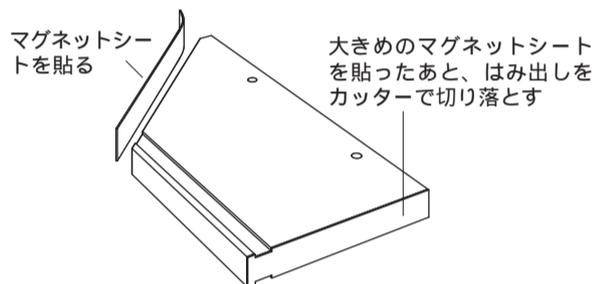
電動工具を殆ど使わず、自作ジグとノコギリや西洋カンナで本格木工を目指す技法です。以下の 2冊の書籍に詳しく解説されています。

「超画期的木工テクニック集」  
スタジオタッククリエイティブ (著者: 杉田豊久)

「杉田式・ノコギリ木工のすべて」オーム社 (著者: 杉田豊久)

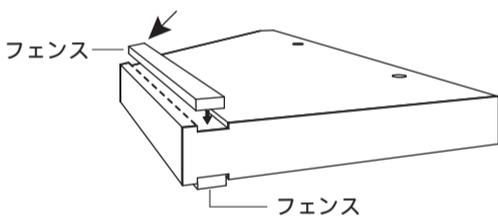
## 【準備】

### 1. マグネットシートを貼る

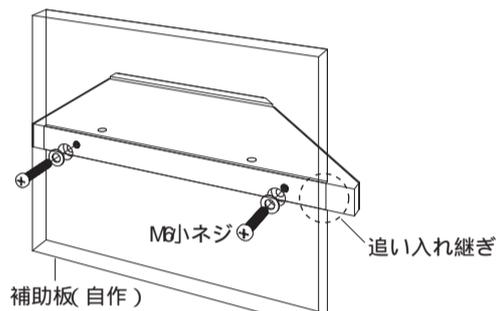


### 2. フェンスの取り付け

フェンスにするまっすぐな硬木の細角棒 (5x 10) 2本を両面テープでジグの溝に貼ります。その際、細角棒を点線部に押し当てるようにしながら貼ってください。(ジグの溝幅は 11mmなので反対側に 1mmの隙間ができます) 長めのものを貼り、ノコギリで切り落とします。体貼ったら切り落とすことを繰り返します。【注意】フェンスの 45° 部は切り落としたとき、角が鋭利になるため危険です。図の矢印部分を必ず面取りしてください。



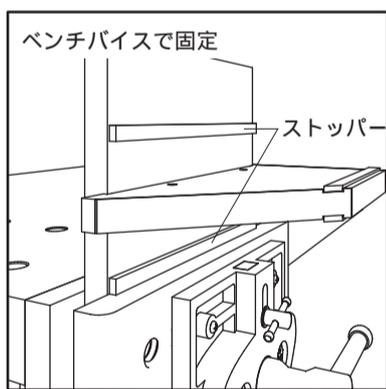
### 3. 補助板の取り付け



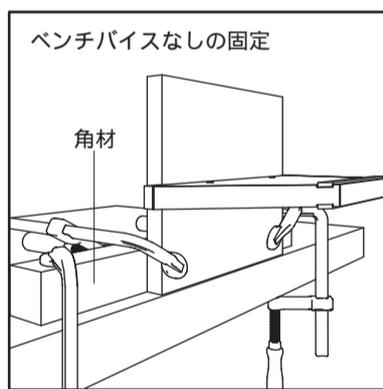
補助板: ジグに M6小ネジで取り付け、クランプなどで作業台に固定する板。形状は自由。18mm以上の厚い板 (合板や集成材) に取り付けるのが望ましい。集成材の場合木目は縦方向にする。

#### 【追入れ継ぎ】

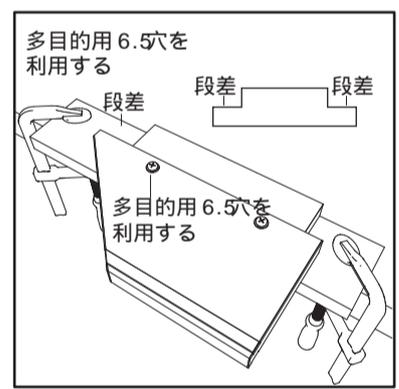
ノコギリ木工の技法なら電動工具なしで簡単にできる。  
1. 補助板にネジを通す穴をあけ、M 6小ネジでジグ本体に仮取付けする。  
2. ジグをノコギリガイドで挟み両面テープで補助板に固定。ノコギリガイドは角材やアングル材にマグネットシートを貼った臨時のもの。  
3. ジグを外し、ノコギリガイドに沿って 5mm程度切り込む。  
4. 不要部分をノミとルータープレーンで取り除けば追入れ溝の完成。



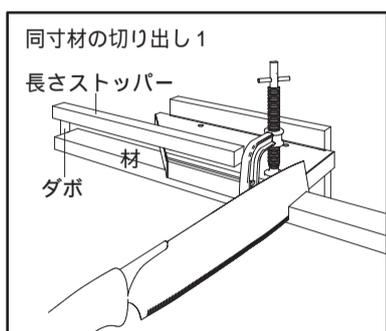
ベンチバイスに挟んで固定するのが最も簡単な方法です。2本のストッパーを両面テープなどで貼れば、位置決めも簡単です。上下反転してノコギリ位置を左右どちらにしても使えます。



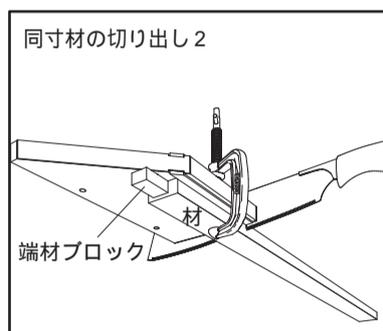
角材と 4個のクランプで作業台に固定することができます。この場合、ベンチバイスは不要です。



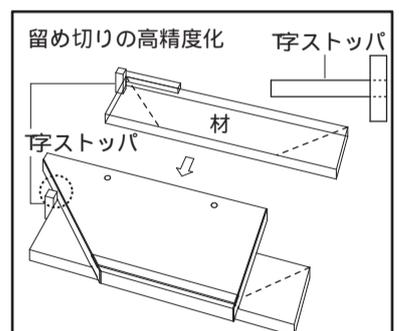
多目的用 6.5穴を利用して作業台に固定する方法です。角材の両端に段差を設け、クランプスペースにします。



角棒にダボを差し込んだ長さストッパーを作れば、高精度で同寸の材を切り出せます。まず材をジグにクランプし、次に長さストッパーをジグに両面テープで固定します。このときダボが材の端に接するようにします。2回目からは材をストッパーにあてがうだけで同寸になります。



短い材を同寸に切り出すにはジグの裏側に端材ブロックを両面テープで固定し、長さストッパーとします。2回目からは材を端材ブロックにあてがうだけで同寸になります。



45° 留め切りの際、目測で材の角にノコギリを当てるより、はるかに精度の高い方法です。存ストッパーを自作し、材の角にあてがいます。次に存ストッパーの角がジグのマグネットシート部に接するようにして (印) 材を固定し切ります。存ストッパーは 10x 10° クリル角棒 / 短材 80° 長材 80° 程度。角は面取りがしてないものを使います。